

相談室だより (米の山)

2016年6月



みなさん、こんにちは。米の山病院のさかぐちです。

季節の変わり目で体調が悪化しやすい季節ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか・・・

梅雨が明ければ、本格的な夏がやってきますね。先日、夏をさきどりするため、流しそうめん・スイカ割りをしました。これからは熱中症や脱水などには充分気を付けてください。

【SW実践集できました！】

SW委員会では、困難を抱えている人々の実態に焦点を当てるため、また、その人たちにソーシャルワーカーがどのように関わっているかを客観視するために、「特徴的事例報告書」の作成を行いました。

2014年夏にSW委員会内で事例報告書の書式を作成し、2014年8月からそれぞれのソーシャルワーカーが対応した事例をまとめ、自身の振り返りと事業所間での共有を行いました。約1年8か月の期間の中で39事例が集まりました。身寄りのない方の事例や人権擁護に関わる事例、医療費などの経済的な問題を抱える方の事例が多く、問題の複雑化・深刻化がうかがえます。

法人内事業所他職種向けに配布しています。ソーシャルワーカーがどんなことをしているのか知って頂く機会にもなりますので、ぜひ読んでいただけたらと思います。

集約件数：39件

テーマ：

1. 医療費問題を抱える事例 6件
2. 身寄りのない高齢者や患者、処遇困難事例 11件
3. 必要なりハビリテーションが受けられない事例 1件

4. 医療・介護難民といえるような、行き場のない事例 2件
5. 保険料の滞納による短期保険証や資格証しかない患者の事例 6件
6. 介護保険滞納による給付制限があり、介護保険が使えない事例 1件
7. 人権擁護に関わる事例 7件
8. その他 5件

選んだ理由（複数回答）：

- 家族問題・・・18件
- 経済問題・・・18件
- 家屋問題・・・12件
- 虐待（経済的）・・・6件
- 虐待（身体的）・・・1件
- 虐待（ネグレクト）・・・2件



今後も引き続き、事例の作成・集約を行い、毎年「SW実践集」として発行していきたいと思っています。今回発行した「特徴的事例報告書」の内容の中で、質問やご意見などがあつた場合は、SW委員会のメンバーにご連絡いただければと思います。よろしくお願ひします。

【新入職員のごあいさつ！】

このたび、私たちソーシャルワーカーに新たな仲間が加わりました！自己紹介も兼ねてごあいさつです！！

こんにちは。
6月1日から医療法人親仁会みさき病院地域連携室勤務となりました金子宗志郎です。



4月に入職して中友診療所、米の山病院での研修を終え本配属となりました。研修を終え、病院でみる患者さんの状況と往診や送迎でみる家や患者さんの状況の違いを身を持って感じる事が出来ました。研修の中で在宅というキーワードが大切になってくると感じました。制度的に在宅と呼べる施設はありますがやはり施設と家は外と中ですから気の使い方が変わってくると思います。私も外での自分と家の中での自分がいます。同じように利用されている方々も家の中と外では違うと思います。これらのことから地域包括ケアにつなげていくた

めに、いかにその人らしく気を使いすぎず地域で暮らしていけるような支援をできるかということが2か月間の研修で私が感じたこれからの課題です。

これからみさき病院での連携室勤務にあたって目標とすることは、まずは自分自身の環境を整備して患者のみなさんや職員の方々に早く覚えて頂けるよう積極的にコミュニケーションをとっていくことです。まだまだ入職したばかりで何もできない自分にふがいなさを感じていますが、様々な多職種の方に教えて頂きながら日々学習し成長していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

私たちSWは、毎月SW委員会を開催し、米の山病院・みさき病院・くろさき苑での事業所報告や学習、SW政策作成やSW実践集の作成を行っています！新しい仲間も加わり、さらにがんばっていきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

トピックス:

5/30 より共生館国際医療福祉カレッジから、社会福祉士取得をめざした実習生の方が米の山病院連携室に来られています。社会人として働きながら資格取得をめざしていらっしゃいます。

7/1 から、同じ学校からもう1名実習に来られます。米の山病院だけではなく、みさき病院での実習もカリキュラムに含まれています。法人内の事業所にも見学に向うかと思ひますので、ご協力をお願ひ致します。

次回は吉野包括の緒方主任です。
乞うご期待！！